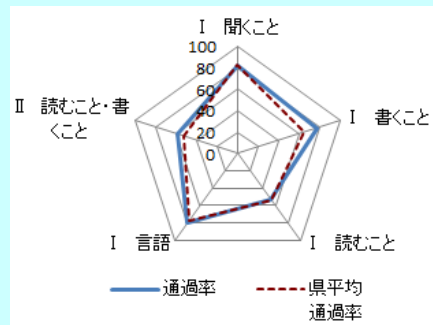


指導方法等の改善計画について〔国語科〕

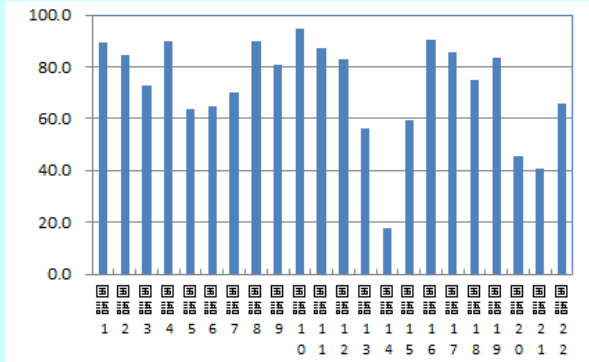
東広島市立寺西小学校

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校72.3%, 県68.0%)

領域別平均通過率



設問Ⅰの平均通過率



本年度の結果について

国語科の結果において、タイプⅠは75.3%、タイプⅡは58.8%の通過率となっている。この結果から、活用問題については依然として課題があるといえる。

領域別で見ると、タイプⅠの「聞くこと」では、要点の聞き取り89.6%、聞き方の工夫84.0%で、かなり定着しているといえる。しかし、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、簡単な単語についてローマ字で書く63.7%、ローマ字で書かれた単語の読み64.7%と低かった。「読むこと」では、叙述を基にした想像(自分の考えの記述)が17.9%と最も低かった。「書くこと」では、文章の構成が59.2%と低かった。タイプⅡ「書くこと読むこと」では、情報の取り出し45.3%、情報の取り出し・情報を関連付けた記述40.8%と低かった。

これらのことから、タイプⅠ「読むこと」では、叙述を基に登場人物の心情を想像して書くこと、タイプⅡ「書くこと読むこと」では、目的や必要に応じて情報を取り出し、それらを関係付けて書くことに課題があることが分かった。

重点課題

【課題1】

設問三の5(2)場面の移り変わりに注意しながら、叙述を基にして登場人物の気持ちを捉え、その変化の理由を説明する問題では、どのような出来事があったかを叙述から分かるように書き出し、そのときの登場人物の心情を想像して書くことができない児童が82%いた。

【課題2】

設問五の3目的や必要に応じて情報を取り出し、それらを関係付けて書く問題では、鉄棒に関する読み物から必要な情報を抜き出し、見本を生かして書くことができない児童が59%いた。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

【課題1】

- ・ 心情について問う際には根拠となる文章や言葉を叙述から見付けさせ、交流させる。
- ・ 様々な問いに対する根拠を聞いたり、叙述を読み直させたりする活動の中で読み取りの力を伸ばす。

【課題2】

- ・ 目的や必要に応じて情報が取り出せるようにするために、資料の見出しや小見出しに着目することや、キーワードを見付けたり、必要な文章に線を引いたりすることを授業や単元テストを通して習慣化させる。
- ・ 特定のキーワードを含む、文字数や段落などを制限した中で書かせる、条件を付けた文章を日常的に書かせることにより、読むことと書くことを関連させた指導を行い、書くことへの抵抗感を減らしていく。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	5年生 復習テスト	5年生前期末テスト	5年生 復習テスト	5年生 市教委確認問題	5年生 CRTテスト	5年生 H29「全国学力」	5年生 学年末テスト
目標値	80.0%	80.0%	85.0%		80.0%	70.0%	80.0%
実施後数値							

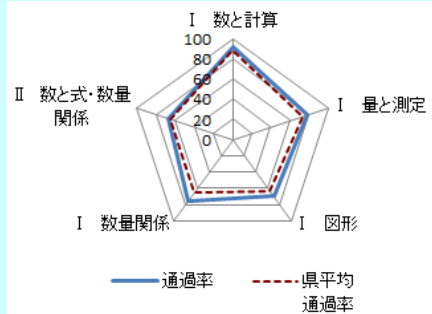
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	4年生 単元末テスト	4年生 前期末テスト	4年生 単元末テスト	4年生 H27基礎・基本	4年生 H28「基礎・基本」	4年生 H29「基礎・基本」	4年生 学年末テスト
目標値	85.0%	85.0%	85.0%	70.0%	70.0%	70.0%	85.0%
実施後数値							

指導方法等の改善計画について〔算数科〕

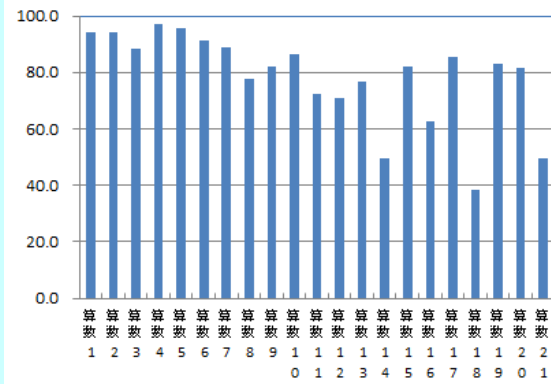
東広島市立寺西小学校

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校78.5%, 県74.3%)

領域別平均通過率



設問1の平均通過率



本年度の結果について

○全体的な傾向について
算数科の結果において、タイプIは78.6%、タイプIIは67.7%のであった。この結果から、タイプIの「数と計算」の領域は通過率が91.1%であり学習内容がおおむね定着していると考えられる。しかし、他の3領域については、「量と測定」77.9%「図形」69.5%「数量関係」75.9%であることから学習内容の定着に課題がある。特に、「図形」では、平行四辺形の判断(約束や性質)の問題の平均通過率が49.8%「数量関係」では、()を用いて一つの式に表わす問題の平均通過率が62.7%である。
また、タイプIIの「数と計算」、「数量関係」の問題に課題が見られる。特に、2つの折れ線グラフの関連付けた問題の平均通過率が38.3%事象の解釈と根拠の説明の問題の平均通過率が49.8%で課題が見られる。

重点課題

【課題1】

タイプIの問題からは、「図形」と「数量関係」の領域に課題があるといえる。平行四辺形を判断するための約束や性質について、理解が十分でないといえる。
(通過率: 7→49.8% 9→62.7%)

【課題2】

タイプIIの問題では、2つの折れ線グラフを比べ特徴や傾向を読み取ることや、計算の結果の解釈と根拠の説明をしたりすることに課題がある。
(通過率: 10(2)→38.3% 11(3)→49.8%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

【課題1】

- ・「図形」や「数量関係」の領域の問題を中心に小テストを作成し、授業始めや帯タイムに短時間に集中して取り組ませる。
- ・帯タイムや朝学習の時間を使い、5学年は12~2月に集中的に1人1台タブレットを活用して、多くの練習問題に取り組む。
- ・図形の性質を理解させるため、具体物による操作活動を意図的に行う。

【課題2】

- ・グラフなどの資料を読み取る活用問題に取り組ませ、数学的な考え方を養う。
- ・立式の根拠を必ず記述させたり、言わせたりする活動をペアトークで行う。
- ・研究授業において、数学的な考え方を目標とする授業を行い、学校全体で授業改善に取り組む。

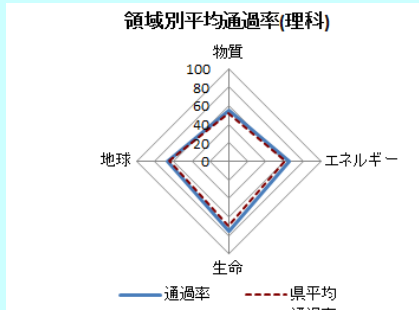
【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	5年生 復習テスト	5年生前期末テスト	5年生 復習テスト	5年生 市教委確認問題	5年生 CRTテスト	5年生 H28「全国学力」	5年生 学年末テスト
目標値	80.0%	85.0%	84.0%		80.0%	70.0%	85.0%
実施後数値							

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	4年生 単元末テスト	4年生 前期末テスト	4年生 単元末テスト	4年生 H26「基礎・基本」	4年生 H27「基礎・基本」	4年生 H28「基礎・基本」	4年生 学年末テスト
目標値	85.0%	83.0%	83.0%	70.0%	70.0%	75.0%	84.0%
実施後数値							

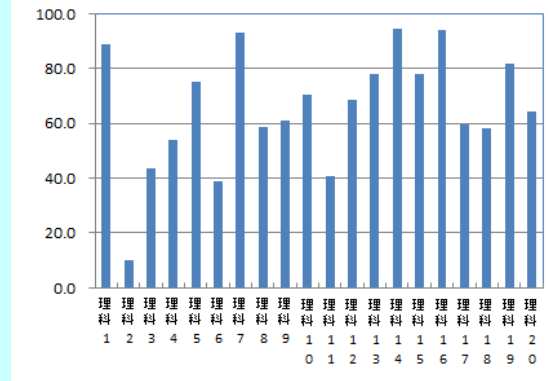
指導方法等の改善計画について〔理科〕

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校65.6%, 県61.7%)

領域別平均通過率



設問1の平均通過率



本年度の結果について

理科の結果において、タイプIは75.1%、タイプIIは54.0%の通過率となっている。この結果から、活用問題については依然として課題があるといえる。

領域別で見ると、タイプIの「生命」では、温度の正しいはかり方は94.5%、渡り鳥の越冬は94.0%を超えており、かなり定着しているといえる。

しかし、タイプIIの「物質」では、適切な検証方法の選択は最も低く10.0%、予想の根拠は43.8%と低かった。タイプII「エネルギー」では、日光をかさねたときのあたたかさが38.8%と低かった。タイプI・タイプIIの「地球」では通過率が65.9%であったが、県平均通過率74.4%より8.5%低かった。

これらのことから、タイプII「物質」では、適切な検証方法を選択し、それを文章で説明すること、タイプI・タイプII「地球」では、影のでき方や太陽の位置と影との関係、結露の現象の理解に課題があると分かる。

重点課題

【課題1】

設問1の(2) 空気てっぼうの前玉が空気の手で押されることを立証できる適切な検証方法を選択し、その理由を説明する問題では、正しい選択肢を選ぶことができていない児童が70%いた。また、選択肢が正解していても50%の児童は、その実験を選択した理由を正しく説明することができていなかった。

【課題2】

設問3の(1) 鏡に反射した日光を重ねたときに温くなる理由について、日光が当たる鏡の枚数と温度の関係を比較して説明することができない児童が60%いた。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

【課題1】

- ・実験をする際、主体的に取り組ませる。
- ・実験した内容について、予想、実験の手順、結果、まとめの順の流れでまとめられるように日々の授業で取り組んでいく。

【課題2】

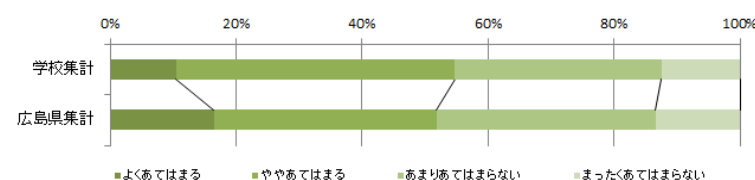
- ・課題発見・解決学習を行う単元を意図的に仕組み、実験の仕方の計画を児童自身に立てさせる。実験の計画を立てる経験を重ねることで、結果から得られる結論に早く気づき、自らの言葉でまとめられるようにする。
- ・児童に主体的に学習を進めさせることで、意欲の向上を喚起し、理解の深化につなげる。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	5年生 復習テスト	5年生 前期末テスト	5年生 復習テスト	5年生 市教委確認問題	5年生 CRTテスト	5年生 H29「全国学力」	5年生 学年末テスト
目標値	70.0%	75.0%	80.0%		70.0%	65.0%	70.0%
実施後数値							

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	4年生 単元末テスト	4年生 前期末テスト	4年生 単元末テスト	4年生 H27基礎・基本	4年生 H28「基礎・基本」	4年生 H29「基礎・基本」	4年生 学年末テスト
目標値	80.0%	80.0%	75.0%	60.0%	65.0%	70.0%	80.0%
実施後数値							

質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：児童質問紙調査）

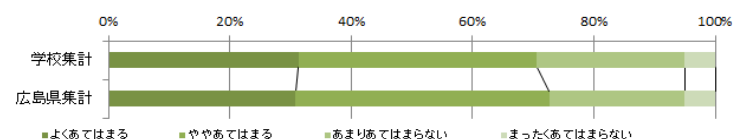
（１）生活・学習



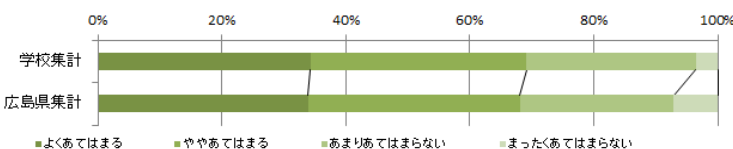
児童の回答についての課題（現状値）	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状値からの伸び
○授業では、課題を解決するために、進んで資料を集めたり取材をしたりしている。(54.7%)	○総合的な学習の時間では、本校の分離開校を題材とした探究的な学習活動を設定し、他者と協働しながら取り組ませる。 ○情報機器を活用し、情報を収集したり、取材したことや調べたことなどをまとめたりする。	5	75.0%	児童アンケート調査	2月		

（２）教科

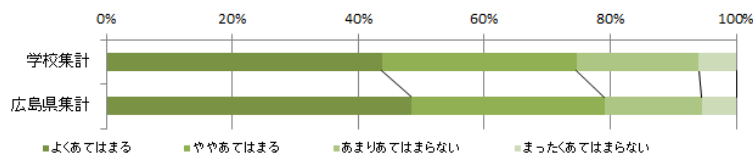
国語の授業の中では、伝えたいことの中心がうまく伝わるように、話の組み立てを考えて話したり、話の中心を考えながら聞いたりしています。



算数の授業では、自分のとき方や考え方を話し合うときに理由をあげて説明しています。



理科の授業では、観察や実験を行うときは、自分で観察器具や実験器具をつかっています。



	児童の回答についての課題（現状値）	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状値からの伸び
国語	○国語の授業では、伝えたいことの中心がうまく伝わるように、話の組み立てを考えて話したり、話の中心を考えながら聞いたりしている。(70.6%)	○児童が意欲的に考え、自分が考えたことを他の人に説明してわかってもらいたい、人の話を聞いてみたいと思うような学習課題を設定する。 ○話し手には話す視点、聞き手には聞く視点を示し、主体的に話したり聞いたりできるようにする。	3 4 5	80%	児童アンケート調査	2月		
算数	○算数の授業では、とき方や考え方を話し合う時に理由をあげて説明している。(69.2%)	○児童の理解を深めたり、思考力・表現力を伸ばしたりするために、互いの考えを説明させる活動を設定する。 ○説明する際に効果的な図が活用できるように各学年で指導する。 ○児童に式や図だけでなく、それらを説明する文章を書かせ、ペアやグループで説明し合うことができるようにする。	1 2 3 4 5	80%	児童アンケート調査	2月		
理科	○理科の授業では、観察や実験を行うときは、自分で観察器具や実験器具を使っている。(74.6%)	○より主体的に観察や実験に取り組ませるために、児童のアイデアを取り入れたり、実験方法を選ばせたりする。	3 4 5	80%	児童アンケート調査	2月		

「基礎・基本」定着状況調査の調査結果入力ファイルで
作成されるグラフを適宜活用する。